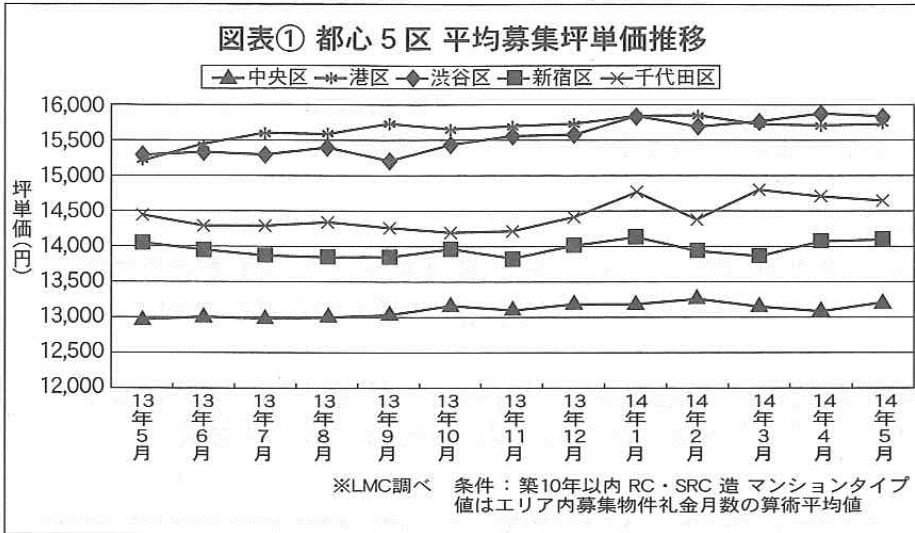


# 平均募集坪単価 中央区のみ大きく増加

千代田区、平均募集礼金が1月以降初めて減少傾向に

リーシング・マネジメント・コンサルティング



リーシング・マネジメント・コンサルティング（東京都港区）は、6月30日に2014年5月末時点の都心主要5区賃貸マンション坪単価推移・礼金額推移を発表した。同社の「賃貸マーケットデータファイル エリア版」をもとに作成した。

平均募集坪単価は、4月末時点から中央区がプラス113円、港区がプラス24円、渋谷区がマイナス41円、千代田区がマイナス66円となった。中央区以外は小幅な動きとなった。中央区の募集戸数はポリュームゾーンの1万2000円台と1万3000円台を中心に4月末時点から全体では、マイナス9.1%減少した。

しかし、坪単価1万5000円を上回る募集戸数が約6%増加したことが坪単価上昇の要因となった。

新宿区は4月末時点で1万4000円台まで回復したが、今回も1万5000円を上回る募集戸数が前月末を上回り、坪単価は引き続き上昇傾向にある。

平均募集礼金は、港区がプラス1.8%とわずかな上昇。千代田区は1月以降、大幅な上昇傾向にあったが、今回はマイナス1.9%と減少した。

